

一般演題

2021年開設予定の統合医療施設「富士南麓 健幸の里（仮称）」 における中医学の位置づけ

フジ虎ノ門整形外科病院
ハリウッド大学院大学
関隆志
上馬場和夫

【緒言】静岡県御殿場市のフジ虎ノ門整形外科病院の関連施設として、同市内富士山南麓に統合医療センター「富士南麓 健幸の里（仮称）」を2021年開設する準備を進めている。そこでの中医学の役割について報告する。

【事例】フジ虎ノ門整形外科病院は整形外科を中心として、形成外科、神経内科、小児科、皮膚科、更年期外来、内科、歯科などを擁する総合病院である。温泉などを完備したスポーツジムを併設し、患者の治療のみならずアスリートのトレーニングやリハビリテーションも積極的に行ってきた。鍼灸治療をおこなう「東洋医学室」もっており、鍼灸師、マッサージ師が週6日間対応している。さらに2020年8月には「東洋医学総合診療科」を創設して中医学診療を充実させている。

現在、2021年の統合医療センター開設に向けて、院内各部署で中医学やアユルヴェーダを中心とした東洋医学の講習会を毎週複数回開催している。栄養科においては中医栄養学に基づいたレシピ（いわゆる薬膳）の作り方の勉強を始めており、11月からは定期的に職員食堂で提供を始め、その後、病棟やデイサービス利用者への食事、スポーツジムや統合医療センターの利用者などに提供できるよう改善していく。「東洋医学室」では中医学に基づいた診断治療法の学習をしている。

統合医療センターで予定している様々な企画のひとつが「統合医療人間ドック」である。現代医学の健診に加えてアユルヴェーダと中医学の観点でひとりひとりを診断し、中医栄養学やアユルヴェーダに基づく食事、運動メニュー、経穴・経絡刺激法などひとりひとりに最適な体質改善法を提供する。そこでは、すでにおこなわれてきているスポーツジム、東洋医学室、リハビリテーション科のノウハウも人間ドックの診断結果に合ったかたちで活用する。

【経過】中医学を中核の一つに据えた統合医療を実施できる施設を開設する準備をしている。今後、経過を報告していきたい。

キーワード：中医学、統合医療、統合医療クリニック、統合医療センター、人間ドック